

## 第 61 回九州経済同友会 大会アピール

九州は全国に先んじて高齢化が進展してきた。高齢化の進展は、人口の減少と相まって、域内市場の縮小に繋がることが懸念される。しかしその一方では、高齢者の増大により高齢者向けの市場は拡大するものと期待される。

そこで、我々経済人は、シニアのニーズを的確に把握し、高齢社会に適合した新たな市場を創造することで、九州の経済に活力を吹き込み、経済成長を持続させなければならない。

我が国のみならず、先進国・東アジア諸国においては、今後急速に高齢化が進展するとみられている。我々九州の経済人は、高齢社会に適合した先進ビジネスモデルをいち早く構築することで、海外からシニアを呼び込み、同時に海外においてシニア向け事業を展開し、海外の活力を九州に呼び込むことを目指す。

このため、我々経済人は、以下の取り組みを行う。

### 1. シニアのニーズの的確な把握による消費市場の拡大

高齢社会の到来により、医療・福祉サービス・機器、医薬品、健康食品、シニア向け住宅などの市場が成長すると期待される。しかし、一口にシニアといっても、そのニーズは多様である。このため、我々経済人は、シニアの声を聞き、医療・福祉現場の意見を取り入れ、高齢社会に適合した商品の開発に取り組む。

加えて、シニアに限らず、その家族や趣味を同じくする他世代などにも訴求する幅広い切り口からの商品開発や、富裕層やアクティブシニアと呼ばれる高齢者への高品質な商品の提供などにより、消費市場の拡大を目指す。

### 2. 海外からのシニアの呼び込みと海外市場の開拓

市場縮小が懸念される九州において、東アジアをはじめとする海外市場の開拓は極めて重要である。そこで、我々経済人は、国際レベルの魅力ある観光資源の開発や医療ツーリズム等を推進し、ホスピタリティあふれるもてなしに磨きをかけることで、短期・長期に滞在するシニア層をはじめとした海外客の獲得を目指す。

また、今後急速な高齢化が予想される海外市場をいち早く開拓するため、他企業と連携し、海外ビジネス支援機関・自治体等の協力を得ながら、シニア向け商品の輸出や海外での事業展開に取り組む。

### 3. 医商工連携等の推進と高齢者が暮らしやすいまちづくりの実現

従来、医療・福祉分野については、民間企業の関与は限定的であったが、シニア市場の開拓のために、医療・福祉関係団体との連携、すなわち医商工連携に取り組むことで、地域の技術力や情報収集力・企画力を持ち寄り、シニアのニーズを踏まえた商

品開発を積極的に推進する。国に対しては、医療・福祉・医薬品等の分野においてさらなる規制緩和や制度の見直しを行い、東九州メディカルバレー構想等の総合特区制度の拡充により、民間企業が参入しやすい環境を整えることを求める。

また、シニアが暮らしやすいまちを実現するためには、住民・行政・地域と企業との連携が不可欠である。我々経済人は、コンパクトシティなどシニアが暮らしやすいまちづくりに積極的に参画するとともに、そうした地域においてシニアが安心して快適に暮らせる商品・サービスを提供する。

#### 4. 高齢者の活用と外国人就労の促進

高齢化の進展の一方で、若年労働力が不足してくることが懸念される。このため、我々経済人は、シニア向け商品開発に高齢者を充てるなどにより高齢者の活用を図るとともに、国に対しては、医療・介護の現場をはじめとして、外国人が就労しやすい環境の整備を求める。

以上

平成 24 年 10 月 11 日

九州経済同友会

代表委員 石原 進

代表委員 小倉 義人

福岡 経済同友会

佐賀 経済同友会

長崎 経済同友会

熊本 経済同友会

大分 経済同友会

宮崎 経済同友会

鹿児島 経済同友会

沖縄 経済同友会